

単調な日々の中の

不思議なお話。

あいかぎ

合鍵のケモノ

HMA



はあっ…

…はっ

はあっ



はあっ

あっ

あれ…

はっ

力が抜ける…

あっ

なんだか
気持ちがいい

あっ…

はあっ

どうして
こんなことして
いるんだっけ

でもまあ
いっか…

だって
とっても
気持ちがいいから…

は…

は…

は…

は…

あいかぎ 合鍵のケモノ

それは
いつか見た

映画の
ワンシーン
の様に

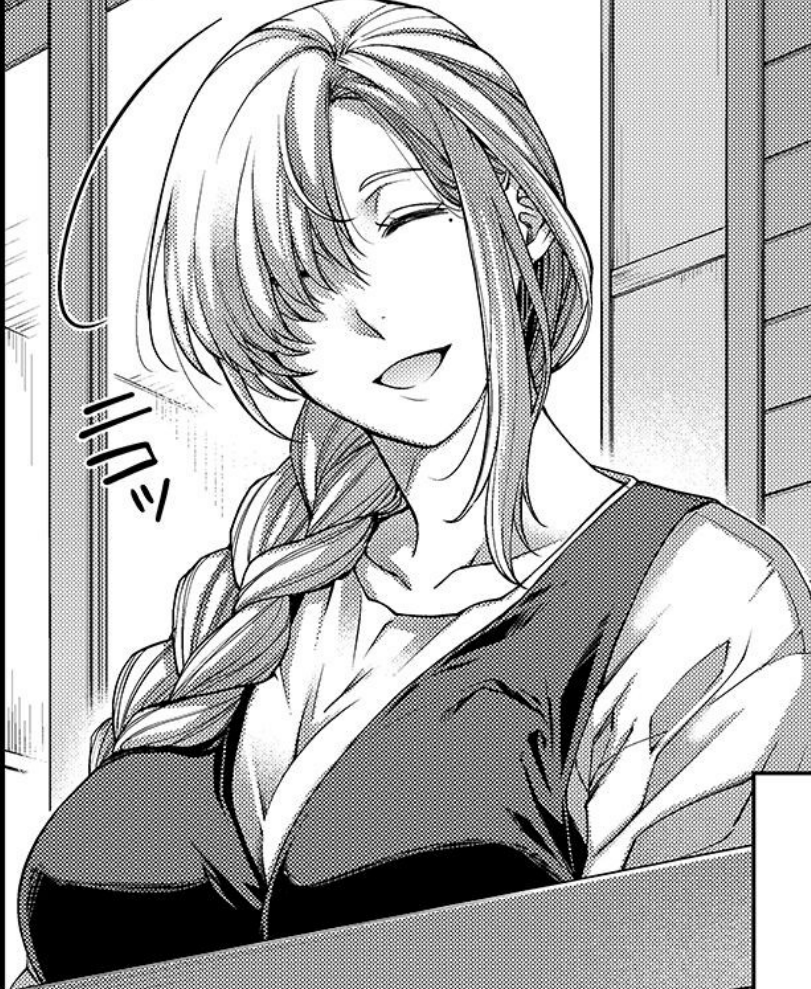
そして

規則正しい信号

顔なじみの乗客

定時の電車





いつも
見かける



二階の
角部屋の女性



名前も
知らない



話をした
ことも無い

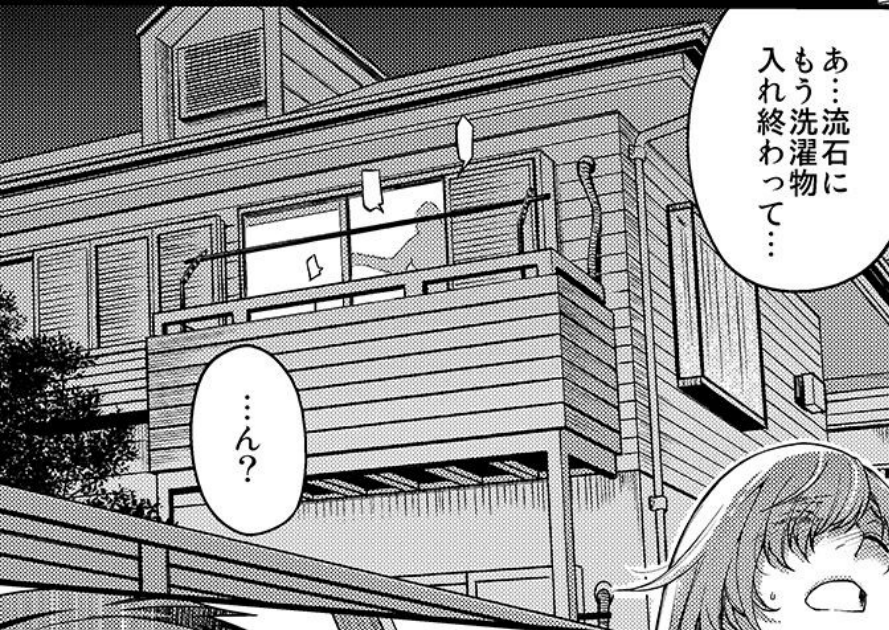
帰り道に
会釈だけする

そんな
不思議な関係

単調な日々の
繰り返しの中



ほんの少しの
楽しみである





あ…
こっちに
気付い…

あ…?

…う?

…え

え…

…まさか
『たすけて』!?

強盗…

いや強姦!?

え…これ
どういう…
状況なんだ?





は…
ハイ…

認識されてた！



ふふっ
おかしな
出会いで
すよね



あなたは
確か

いつも外で
挨拶して
下さる方
ですよ？

近くで見ると
本当にキレイな
人だ



お互い顔はも
知っていても
直接会って
お話するの
が
こんなこと
だなんて



いえ、
見つけて
貰えなかつたら
私…

それは
言い過ぎ…

あのまま
餓死してい
た
かもしれま
せん



さっき
触れた時
に
女性特有
の
いい匂い

こっちこそ、
勘違いとはい
え
勝手に入って
スイマセン



忘れられ
そうにない…

だって

なんだ
この感覚…？

空腹だと
言っただけ
なのに…

そうだ

助けて貰った
お礼に…

ポン

も
ワッ

え!?

コチラが
『窮屈』に
されているので

今度は私が
『助けて』
あげますね

急に空気…
というか

そろそろお腹が
空いてきたから…

雰囲気
が変わったと
いうか…

これは
その!

男なんて
普段から
こんなもん
ですから!

ワッ
ワッ
ワッ



あら

男性って
普段から

フル勃起されて
いるんですか？

ずるっ



エッチな体ですね



あ...う...

なっ...
なんなんだ
コレ...

てく
てく...
てく...
てく...

コソコソ

っ!!

くっ
くっ

変な事を
されているって
わかってるのに

抵抗できない





んっ…

一気に豹変
したというか…

いつも挨拶を
交わしていた
女性が

あなたの
フルはまだまだ
デシヨ？

フル勃起の
状態で
入るかしら？

なあんて♡

くちゅ…

っ!!

まさか
こんな淫乱…

は…っ

いや
痴女だった
なんて…

は…

めち…

は…っ

ふふ…
ぜえんぶ
唾えちやった…



それとも
幻滅して
しまいました？

挨拶を
交わすだけの
関係だったのに

接触した
その日に

こんなにも
淫らに腰を振り

男をむさぼる



あなたの
願望なのよ



でも
今のコレ
って

実は全部



そっ…
そんなことは…っ

おっぱい
おっぱい

はっ

はっ

あなたはただ
帰り道に挨拶をする
女性なだけで
それ以上はなにも…

はっ

本当に
そうかしら？

ビクッ

言葉とは裏腹に

走って時間通りに
来ようとしたのは
なぜ？

隙間に挟まった
私を見て
強姦されている
と思ったのはなぜ？

ただ挨拶する
だけの女を

がっしり
私を掴んで
離さないで
じゃない？

なおも
抱き続けるのは
なぜ？

…事実だから
言い返せない…

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ



ふふっ
その答えを
教えてあげる

実はね！
ずうっと

あなたの目に
留まるような
行動をして

私の存在を
植え付けた

私のことしか
考えられない
ように

熟れるのを
待ったの

そうそれは
パブプロフの
犬の様に



さあ

はっ...

はっ...

快楽が得られた
かしら？

はっ...

はっ...

トロネ

それとも
罪悪感が
残るかしら？

はっ...

ふふっ...

はっ...



反動で壁に
頭をぶつけて
しまってた

私を助けて
下さった直後

あ、
えっと俺…

1970

気付かれ
ました？

気を失って
いたんですよ

え…？

そういえば
後頭部が痛む
な…

なんか
スイマセン…
その…っ



時間は…

え!?!
まだ十分も
経ってない？

まだ
痛むようなら、
救急車
呼びますけど…

まさか
さっきのは
夢…？

あ、いや
大丈夫です

…じゃあ、
俺はこれで

え、でも…

キッ

ハッ...



名前

これでまた
明日も同じ
日が来る

単調な日々
に退屈して
いた脳が
みせた幻...

聞きそびれ
ちゃったな

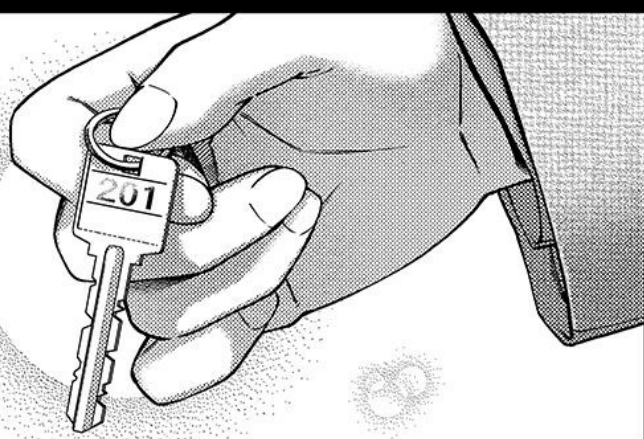
なんてな



は

鍵...?
いつの間に...

201...



チャリ

それって



201





また

会える口実が
出来たな…

どうやって
返したら
いいのだろうか…



こんにちは、日吉ハナです。
今回は商業で良く描いている「椿」というキャラクターの作品となります（二次創作じゃないですよ！）単行本発売記念に、電子で新規の話が読めたら面白いかな？と思って、製作しました。

単行本発売記念ということで、今までの椿作品を「混ぜ合わせ」たような内容にしてみました。最初から狙ってそのように作ったわけではないのですが「もう一度こういうシーン描いてみたいな」というノリでの製作です。

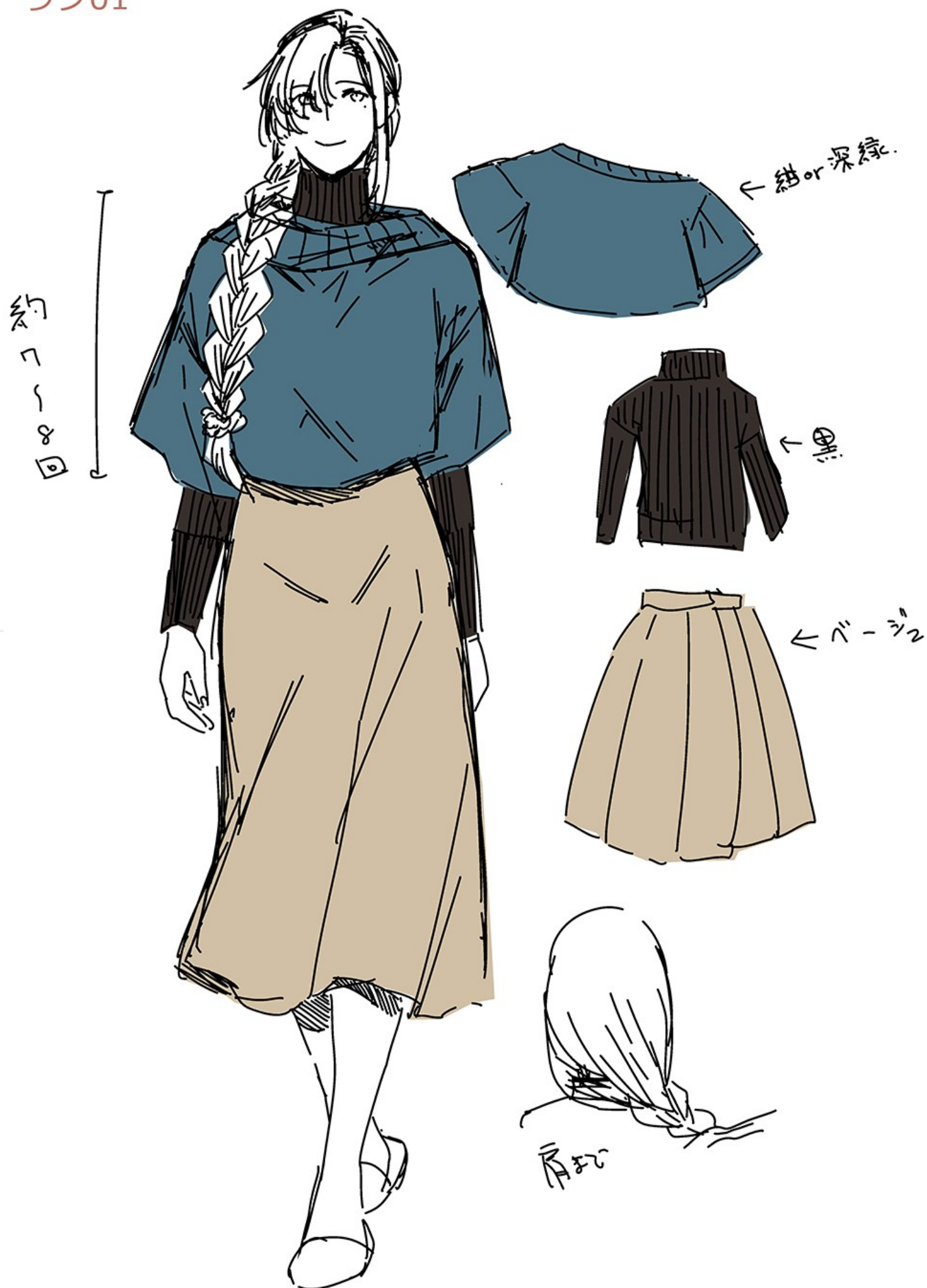
内容としましては、日常の中の非日常という、椿らしいテーマにしてみました。作中でも書きましたが、世の中は本当に規則正しく動いていて、普段当たり前のように見えていた景色や感覚に、急に「ふ」と混ざり込む何かってありませんか？という発想から今回のお話を考えていきました。

オチとしては、なんだか主人公がストーカーみたいな発言にとれてしまうかもしれないな…と思ったのですが、プラス思考で解釈頂ければと…！

といった感じで、また次回作も既に製作に取り掛かりますので、お待ちいただけると幸いです。次回はもっと明るい感じがいいかな、なんて思いつつ。ではまた！

日吉ハナ

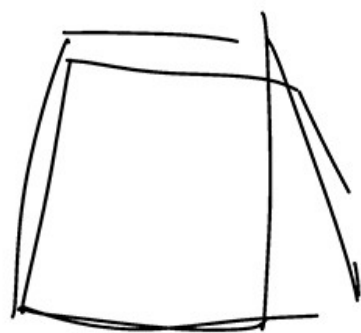
【お知らせ】
2023年11月30日に最新単行本『廻夜のケモノ』（GOT）が発売しました！この『合鍵のケモノ』にも通じる内容なので是非…！





サイド割れ

後ろ割



下にもう1枚
必要かも

足先まで描いていました。

